

第 5 8 2 回 役 員 会 議 事 要 録

- 1 . 日 時 令和 3 年 1 2 月 2 0 日 (月) 自 1 3 時 3 0 分 至 1 4 時 1 0 分
- 2 . 場 所 第 2 会 議 室
- 3 . 出 席 者 三 浦 学 長、塩 谷 理 事 ・ 副 学 長、二 見 理 事 ・ 副 学 長、三 上 理 事 ・ 事 務 局 長
緑 川 理 事
【 オ ブ ザ ー バ ー 出 席 】 谷 副 学 長、佐 野 副 学 長、塘 副 学 長、橋 本 監 事
- 4 . 欠 席 者 高 橋 理 事

【 確 認 事 項 】

第 5 8 1 回 役 員 会 議 事 要 録 を 原 案 の と お り 確 認 し た。

5 . 審 議 事 項

(1) 労 使 協 定 の 再 締 結 に つ い て

資 料 1

塩 谷 理 事 よ り、資 料 1 に 基 づ き、附 属 中 学 校 過 半 数 代 表 者 と の 労 使 協 定 締 結 の 回 答 を 踏 ま え、福 島 大 学 附 属 中 学 校 と 労 使 協 定 を 再 締 結 す る こ と に つ い て 提 案 が あ っ た。

審 議 の 結 果、提 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 と し て、教 育 研 究 評 議 会 へ の 報 告 を 行 う と と も に、1 2 月 中 に 過 半 数 代 表 者 に 調 印 依 頼、労 働 基 準 監 督 署 へ の 届 出 を 行 う こ と と し た。

(2) ICL プ ロ ジ ェ ク ト に お け る 単 位 互 換 に 関 す る 協 定 締 結 に つ い て

資 料 2

マ ク マ イ ケ ル 国 際 交 流 副 セ ン タ ー 長 よ り、資 料 2 に 基 づ き、文 部 科 学 省 大 学 の 国 際 化 促 進 フ ォ ー ラ ム に お け る プ ロ ジ ェ ク ト 「 国 際 共 修 ネ ッ ト ワ ー ク に よ る 大 学 教 育 の 内 な る 国 際 化 の 加 速 と 世 界 展 開 」 (ICL プ ロ ジ ェ ク ト) に お け る 授 業 交 流 を 推 進 す る こ と を 目 的 と し て、ICL プ ロ ジ ェ ク ト に 参 画 す る 国 内 連 携 大 学 (東 北 大 学、東 京 外 国 語 大 学、信 州 大 学、大 阪 大 学、神 戸 大 学) と 単 位 互 換 に 関 す る 協 定 を 締 結 す る こ と に つ い て 提 案 が あ っ た。

審 議 の 結 果、提 案 の と お り 承 認 さ れ、今 後 の 手 続 と し て 教 育 研 究 評 議 会 に お い て 審 議 す る こ と と し た。

(3) 福 島 大 学 に お け る 教 育 研 究 費 の 不 正 防 止 対 策 に 関 す る 基 本 方 針 に つ い て 資 料 3

塩 谷 理 事 よ り、資 料 3 に 基 づ き、文 部 科 学 省 が 定 め る 「 研 究 機 関 に お け る 公 的 研 究 費 の 管 理 ・ 監 査 の ガ イ ド ラ イ ン (実 施 基 準) 」 の 改 正 を 踏 ま え、教 育 研 究 費 不 正 防 止 計 画

推進室において再点検を行った教育研究費の不正防止対策に関する基本方針、教育研究費の不正防止計画、新設された啓発活動等の実施内容等について提案があった。提案について、監査室はモニタリングに専念し、啓発の主体は別にした方が良いのではないかと意見があった。

審議の結果、意見については別途検討することとし、提案のとおり承認された。

6. 報告事項

- (1) 教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画について 資料4
塩谷理事より、資料4に基づき、「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」の改正を踏まえ、教育研究費不正防止計画推進室において再点検を行った教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画、コンプライアンス教育用テキスト及びコンプライアンス教育の理解度調査について報告があった。